

ダミー団体の学校

徹底追及 統一協会

統一協会(世界平和統一家庭連合)はアフリカでも「盲教」をしています。その活動を日本政府がODA(政府開発援助)で支援していたことが、日本共産党の殺田恵二衆院議員による国会質問で明らかになっています。支援の背後に何があるのか。

殺田氏質問で判明

アフリカ・セネガル駐在の日本大使から外相宛てに送られた「電信」があります。殺田氏の求めに外務省が提出した書類です。日付は2014年11月末。セネガルで職業訓練校を建設するため日本円で約9550万円をODAで支出していたと承認を求めた書類です。

アフリカ・セネガル 安倍首相・岸田外相の下で

ODA支援

「資金協力」による資金供与で、供与限度額は、原則1000万円以下。限度額に対してはほぼ満額を提供した形です。セネガルでは日本円で数億円に匹敵する金額だとされています。

調査約束したが、不思議なことに書類には、ODAを提供する団体の和名が「女性平和団体」としか記

されていない。統一協会(世界平和統一家庭連合)の開祖文鮮明(故人)と妻で現總裁の韓鶴子が創設した団体です。同28日には衆院予算委員会で日本共産党の田村

電信

殺田氏質問で判明

和文「女性平和団体」

1990年11月11日、セネガル共和国の職業訓練校の建設にODAを供与する。このODAは「女性平和団体」を通じて提供される。この団体は、セネガルの職業訓練校の建設にODAを供与する。このODAは「女性平和団体」を通じて提供される。

1990年11月11日、セネガル共和国の職業訓練校の建設にODAを供与する。このODAは「女性平和団体」を通じて提供される。この団体は、セネガルの職業訓練校の建設にODAを供与する。このODAは「女性平和団体」を通じて提供される。



統一協会関連団体「世界平和女性連合」の報告書にはセネガルで「職業訓練校運営」と記載されていた

議員の質問に対し、岸田文雄首相が調査を約束し、た。ところがその4カ月後、林芳正外相は調査の結果、「女性平和団体は独立したNGO団体であり、世界平和女性連合の傘下団体ではない」と3月17日、衆院外務委員会と断言したのです。

殺田氏はさらに調査を種ね追及します。女性平和団体の代表は、セネガルの世界平和女性連合のメンバーで「副会長」とな

っている。一校舎には韓鶴子の肖像画が飾られている。一世界平和女性連合から8000分の機材を提供され

ていた。一校舎にある機材には、世界平和女性連合の「FPM」とシンボルマークが描かれている。職業訓練校の公印にも

証拠出されても

証拠がこれだけ出されているにもかかわらず、なぜ外務省は統一協会関連団体と認めないのか。

実は、ODAを供与した当時の外相は岸田文雄首相でした。当時の首相は、統一協会と近い関係にあった安倍晋三氏です。

賞賛金などで被害を広げてきた反社会的団体へ日本政府が税金を供与し、海外活動にお金付きを与えたかどう

求をすすめたかどう指摘されています。「統一協会との関係を断つ」と表明した岸田政権の根本姿勢が問われる